

生徒会新聞

十一月二十日
発行
第四号

寒い日が続いていますね。ニットやインナーの出演が到来しました。

今年もいよいよ残り一か月と少し、後悔のないように、やり残したことをやり切りましょう！

先日、我が加治木高校の龍門祭の一つである文化祭が終わりました。

コロナ禍で一日しかなかったり、生徒だけでの開催になったりと、例年とは違うことが多かったですが、楽しめたでしょうか。

舞台での発表や映像部門、室内での展示、どれも素晴らしいものでした。来年はどうなるか予測できませんが、待ち遠しいです。



ダンス部



書道部

元加治木生、帰ってきました。

加治木高校へ教育実習の先生方がいらっしゃいました。せっかくなので三週間実習をされる先生方少し話を伺いました。

Q、理想の教育像は？

A、嫌々してる勉強を、楽しくなるように応援できる環境を作れることが理想です！

b y 亀甲大河先生

(都留文科大 文学部 英語 二年二組担当)

Q、高校時代どんな生徒だった？

A、基本真面目で、ONとOFFはしっかりできてたけど、普段ははっちゃけてました。友達がたくさんできた文化祭が一番の思い出の行事です。

b y 飯森侑太郎先生

(九州大学 文学部 日本史 二年三組担当)

Q、高校でやり残したことは？

A、生活の記録をしっかりと書いておくべきでした。ただ過ごだけじゃなくて毎日何を目的とするのか、日々の計画が大切だと思います。

b y 地頭蘭彰紘先生

(日本体育大学 体育学部 体育 一年四組担当)

Q、加治木の生徒の印象は？

A、すごく真面目！そして素直で優しくて授業がやりやすかったです。今でいっぱい嬉しいと思います。うけど、余裕をもてたらもっといいと思います。

b y 西智枝理先生

(福岡教育大学 教育学部 書道 二年一組担当)
インタビューのご協力、そして三週間、ありがとうございました。

感動のハーモニー

十一月月上旬に加音ホールにて、ゴスペルのグループ、ソウルマティックスの皆さんが来てくださいました。ゴスペルを初めて聴く方も多かったのではないのでしょうか。

迫力のある歌声と満面の笑顔、クレイジームーブに元気づけられましたね！ 笑いあり、感動ありの約二時間、すごくいい経験になりました。

感染対策をしっかりしながら、思いっきり楽しめました。



加音ホールにて

生徒会活動報告

文化祭の運営と準備を中心に活動しました。また、三年生に向けての応援メッセージへのご協力ありがとうございました。とてもいい作品になったと思います。

放課後の勉強スペースについては、先日、皆さんからの意見をいただいたので、生徒会で今後どのようにしていくか話し合って提案していきます。

お知らせ

放課後、部活等の運動で学校敷地内を走る生徒は「右側」を走るようにしてください。

また、先日の赤い羽根募金の最終募金額は、二万五百万円でした。たくさんのご協力本当にありがとうございました。